



議会だより

あさぎり

No.49
H28.8.4 発行

あさぎり町議会

検索

通年議会
第1・2回会議

就任のご挨拶.....2P

議員紹介.....3～4P

一般質問に11人が登壇8～13P



上薬師保育園 はじめての夕涼み会・水あそび

就任のごあいさつ

是々非々の議論で 町づくり



議長 山口 和幸

免田(二子)

熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます、被災地の早期の復旧・復興が進みます事を心からお祈りいたします。

このたび、平成28年5月10日に開催されました第1回あさぎり町議会におきまして、議員各位のご推挙を受け、第5代議長に就任しました。誠

に身に余る光栄でありますとともに、職責の重大さを痛感しております。

さて、合併して14年目を迎えました、少子高齢化・人口減少は本町におきましても急速に進んでおります。又、町財政は地方交付税の合併算定替えの特例が終わりつつあり、年を追うごとに厳しくなっております。さらに喫緊の課題も数多く抱えており、執行部とは是々非々の議論をして、しっかりと議会の役割を果たしてまいりたいと思います。

又、改選により新人議員も加わり新たな体制の中で、議員の資質向上に努め、積極的な政策提案等を行い、議会改革についても議員一丸となつて取り組んでまいります。

本町のさらなる発展と町民の福祉の向上を目指し、町民の皆さまに幸福を実感して頂くよう、職責を全うするよう誠心誠意努める覚悟でございますので、今後一層のご指導を頂きますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

活力と責任ある 議会づくりへ



副議長 徳永 正道

免田(下乙)

この度の地震で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方々に哀悼の意を捧げ、一日も早い復興をお祈り致します。自然災害の恐ろしさを実感した今回の地震で改めて議員としての責任の重さを痛感

している所です。

さて全国的な傾向ではありますが、本町に於いても少子高齢化が進み地域の活力は減退傾向にあります。そんな中、国は地方創生に向けて地方の創意工夫を活かした施策を求めています。

これからは議員各位が、地域に溶けこんだ積極的な議会活動を展開し政策提言していく取り組みが重要になってくると考えます。活気ある議会を重ね、責任を持てる議会を目指して、微力ではありますが、議長の代位として、副議長の役割をしっかりと果たし、町民の皆様の負託に応え、子ども達の未来に夢と希望を与えられる様な町づくりに取り組んで参りたいと思います。宜しくお願い致します。

議員紹介

(議席番号順)

4月24日、あさぎり町町議会議員選挙が行われ、定数16名の顔ぶれが決まりました。5月10日に第1回会議が開催され、議長、副議長を選出するとともに常任委員会及び一部事務組合議会等の新構成が決定いたしましたので、ご紹介します。

2



難波文美
上(神殿原)

あさぎり町が誕生して14年目。これまでの事を冷静に振り返り、町の将来を更に真剣に考え行動する自立の時を迎えています。ふる里を離れた人達が戻っても生活する受け皿のある町にする事が町の活性化に欠かせない条件のひとつです。広い視野と高いアンテナを持ち町民の皆様と共に幸せを実感できる町作りに全力を尽くします。

1



市岡貴純
深田(明甘)

はじめまして。市岡たかすみです。
⑤・一歩先を見て⑤みます。
⑦・⑦るべき多くの事に目を向けます。
⑥・何事もまじめに⑥えます。
⑧・子どもから大人までより良い未来に向けて⑧きます。
この思いを込めて、若い考え、若い力をしっかり発揮して、あさぎり町の未来へ向けて志しを高く、誠意を持って取り組んで参ります。よろしくお願いします。

4



橋本 誠
上(柳別府)

1期4年間の経験を生かし、これからも初心を忘れず「誠実」をモットーに、是々非々の姿勢で、町民の皆さんから頂いた声を町民目線で議会へ届けていきます。魅力ある故郷の未来づくりに力を注ぎ地域をつなげ将来を担う人づくりに積極的に取り組んでいきたいと思ひます。町民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

3



加賀山瑞津子
須恵(寺池)

「人づくり、まちづくりを皆さまと共に」町の発展には皆さま方の知恵と力が不可欠です。
町と住民の皆さまのパイプ役として「健康で笑顔あふれるふくしのまちづくり」
⑦…福祉の充実
⑥…くらしの安定へ向けての支援
⑧…信頼される議会づくり
に努めてまいります。

6



小出高明
上(榎田)

あさぎり町が合併して14年目。平成31年から地方交付税の特例がなくなり、限られた財政の中で、どうやって町民の方の幸福度を上げ、安心して暮らせる町作りをしていか、この1年1年が重要な時期であります。4年の経験を生かし、何が必要か否かを見極め、若者が残り、人口減少に歯止めをかけ、活気ある融和な町になる様努めます。

5



久保尚人
免田(築地)

国からの財源が減り続けるあさぎり町には、すべてを今まで通りに維持していく財力は残念ながらありません。あさぎり町の「今」を他人事でなく当事者として感じてもらえるように「生」の議会を伝える活動を続けてまいります。多くの方々からの様々な意見が議会での議論をより深く内容のあるものとしていきます。今後ともお力をお貸しくださいますようお願いいたします。

8



豊永喜一
免田(築地)

現在、町では様々な課題(少子高齢化、雇用確保、財源問題、産業活性化等)が山積しています。

今期も決意を新たに、「子どもからお年寄りまで住みやすい豊かな町づくり」を目指して、住民の皆様の声を誠心誠意、熱意をもって取り組み、是々非々の姿勢で臨みますので、今後ともよろしくお願い致します。

7



森岡 勉
深田(仁王)

議会は住民の縮図です。住民の方々への説明と理解を得ることが大事であります。

行政サービスの提供は最少の経費で最大の効果を実現することにあり、健全財政運営と、人づくりを町づくりの基本とし、地域格差のない発展に努め、民意が集う町と明るい町を目指すパイプ役に徹し、専心誠意取り組みます。

10



皆越てる子
上(石坂)

熊本地震が発生し、復旧・復興の支援の輪を頂いておりますことに感謝申し上げます。

町民に負担の少ない心身共に健康な町。日本遺産の認定を受け、新たな観光を町民一体となって磨き上げ、幸せ感じるあさぎり町をめざし日々努力して参ります。又町民の生の声をいつでも、どこでもお聞かせ下さい。お待ちしております。

9



永井英治
免田(久鹿)

地場産業である農林業・商工業ともに厳しい時代にあって、それでも知恵を出し合い粘り強く前進あるのみです。これまで2期8年、様々な問題課題に取り組んでまいりました。これからも町内に抱えた課題だけでなく、広く町村の枠を超えた課題にも積極的に取り組んでいく所存です。これまでと同様に「和して同ぜず」の精神を忘れることなく頑張ってまいります。

12



奥田公人
岡原(齊堂)

今期は、「住んで良かったと実感できる町づくり」をスローガンに町づくりに取り組んで参ります。あさぎり町合併から14年を迎え、均衡ある町の発展が特に大切と痛感しています。少子高齢化が進み財政事情が厳しくなる中、農林業を基盤とした地場産業の育成が最大の課題であります。あさぎり町発展に全力を傾注して参ります。

11



小見田和行
岡原(竹野)

将来のあさぎり町へ残すべきもの、それは清き水、美しい自然と、豊かな人間性、そして健全な財政運営だと思っています。

将来の子ども達へ過剰な負担を残さないためにも、行財政改革を先送りしない勇気が求められていると思います。町民の皆様と「協働」「協調」「対話」のもとで、真に幸福度の高い町づくりを目指します。

14



溝口峰男
上(石坂)

執行部から一番厳しい議員との評価がある中で、今期も是々非々の姿勢でしっかりと町民の代表として恥じることの無い活動をしてまいります。町の財政も厳しい状況ではありますが「高齢者に安心、現役世代に生きがい、子どもたちに夢と希望が持てる町づくり」に全力で取り組んでまいります。

13



久保田久男
須恵(覚井)

あさぎり町には豊富な自然環境や貴重な文化財などの資源が数多く存在しています。それらを活かす為には、それぞれの地域と人と人との連携が重要です。それらの掛け橋が、私達議会の役目の一つであると考えております。

あさぎり町が町民の皆さんにとって「居心地の良い」町づくりに実現できるように全力を尽くします。

厚生常任委員会

委員長 奥 田 公 人
副委員長 皆 越 てる子
委 員 久 保 尚 人
委 員 難 波 文 美
委 員 市 岡 貴 純

総務文教常任委員会

委員長 永 井 英 治
副委員長 加賀山 瑞津子
委 員 山 口 和 幸
委 員 溝 口 峰 男
委 員 森 岡 勉
委 員 橋 本 誠

常任委員会 一部事務組合 議会監査委員等 構成

広報調査特別委員会

委員長 橋 本 誠
副委員長 加賀山 瑞津子
委 員 奥 田 公 人
委 員 豊 永 喜 一
委 員 小 出 高 明
委 員 市 岡 貴 純

議会運営委員会

委員長 小 出 高 明
副委員長 皆 越 てる子
委 員 徳 永 正 道
委 員 久保田 久 男
委 員 奥 田 公 人
委 員 永 井 英 治
委 員 加賀山 瑞津子

建設経済常任委員会

委員長 久保田 久 男
副委員長 小 出 高 明
委 員 徳 永 正 道
委 員 小見田 和 行
委 員 豊 永 喜 一

一部事務組合議会等名	議 員 名				
人吉球磨広域行政組合議員	溝口 峰男	皆越てる子	豊永 喜一	加賀山瑞津子	
公立多良木病院企業団議員	奥田 公人	小見田和行	小出 高明	久保 尚人	難波 文美
上 球 磨 消 防 組 合 議 員	永井 英治	橋本 誠	市岡 貴純		
川辺川土地改良事業連絡協議会議員	久保田久男				
議 会 選 出 監 査 委 員	森岡 勉				



平成28年度 一般会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ8千52万9千円を減額し、

総額

101億8,802万1千円

主なものとして

簡易水道事業特別会計繰出金	881万4千円
臨時福祉給付金補助金	2,530万円
まちづくり基金積立金	2,174万2千円
財政調整基金積立金	2,174万2千円
産業活性化基金繰入金	△867万2千円
農業支援センター事業費	△753万5千円
下水道事業特別会計繰出金	△751万9千円
道路維持費	△1億2百万円

平成28年度 特別会計補正予算

簡易水道事業特別会計	881万4千円
下水道事業特別会計	△751万9千円

繰越明許費 (平成27年度から28年度へ繰越された予算)

町勢要覧作成事業	2,495,000円	栗のブランド化による雇用創出事業	
情報セキュリティ強化対策事業			12,364,000円
	12,885,000円	青年就農給付金(経営開始型)事業補助金	
個人番号カード交付事業	4,243,000円		5,250,000円
選挙人名簿システム改修事業	65,000円	農業支援センター事業	7,535,000円
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業		林道維持管理事業	5,000,000円
	73,222,00円	橋りょう補修事業	35,900,000円
住宅リフォーム助成金	2,300,000円	道路改良・歩道整備事業	91,371,600円
県南広域観光連携事業負担金	263,000円	空調設備設置工事	4,500,000円
子ども子育て支援システム改修事業			
	318,000円		

審議内容の抜粋

問 道路維持費関係の大幅な減額について、国の補助金が当初より6割程しか交付がないが減額の理由は。

答 県下一斉に始まった橋梁補修あるいは道路舗装の要望額が県全体で大きかったため、それに応じた配分となった。秋の大型補正の中で道路事業関係の事業に該当すれば活用したい。

◎あさぎり町公共用地取得等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

問 委員は識見を有する者及び住民のうちから町長が任命するとあるが、この識見を有する者というのは、どのような方を意図しているのか。

答 その案件ごとに判断して、専門的な知識を持った方々を当然考えるべきと思う。農業委員とか、司法書士の方とか、そういう方々をお願いして選任している。

問 臨時委員については、しっかりと振り分けをし、第三者の人たちも入れて、審議をするのもいいのではないか。改正後の委員は、当然住民の代表だが、識見を有する者という部分は、町民というふうに限っているわけではない。

問 特別な事項とは、審議会が判断して、新たに臨時委員を置くのか。それとも町長が判断して、置くと決めるのか。

答 町長が判断して必要であれば任命するというケースもありうるかもしれない。

条例の制定及び一部改正

◎あさぎり町地域公共交通会議設置条例の制定について
あさぎり町内の支線（乗合タクシー路線等）を見直すため会議を設置するもの

◎あさぎり町公共用地取得等審議会条例の一部を改正する条例の制定について

公共財産の利活用に関し効率的な運用を図るため、あさぎり町公共用地取得等審議会の名称を「あさぎり町公有財産利活用審議会」に改め、700万円を超える不動産の買入れや売り払いに関する事項について審議会の意見を聞くため、一部改正するもの

◎あさぎり町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

あさぎり町独自で利用できる事務等（子ども医療費の助成等）、利便性の向上を図るため、一部改正するもの

◎あさぎり町の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、一部改正するもの

◎あさぎり町政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について（議員発議）

町工事等の契約に対する遵守事項の経営方針に関与している企業の役員の除外、森林組合の名称変更、政治倫理審査会の設置規定の変更について、一部改正するもの

第2回会議 表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
あさぎり町地域公共交通会議設置条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町公共用地取得等審議会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度あさぎり町一般会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町固定資産評価員の選任同意について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町議会活性化特別委員会の設置に関する決議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

11人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問

企業誘致の為に交わした 協定書はどうなっているのか



溝口 峰男 議員

溝口 旧東庁舎にA社誘致の為に交わした協定書は当初の随意契約で売却する条件が変更された時、「白紙にすべき」と言ってきたが。

町長 こちらから白紙にする場面ではない。A社も町民が快く受け入れてくれれば進出したいとの考えである。

溝口 町長の考えは。

町長 来てもらえる環境づくりに可能な限り努力していく。

溝口 町民の理解が得られると考えているのか。

町長 8月か9月位を目処に町の方角づけをしたい。

溝口 協定書を交わした後、A社は工場の設計を依頼し、すでに設計書も納品され費用も支払が済んでいる。あさぎり町に進出できなければA社は町に損害賠償の訴

訟を起こす可能性がある。町長が協定書に印鑑を押した責任は大きい。

町長 その様なことにならないよう精一杯努力する。

◎その他の質問

○公立多良木病院の経営について
○町の森林整備と林業振興について



旧東庁舎の屋内

問 町道環状線の整備は



奥田 公人 議員

奥田 町道環状線の百太郎溝にかかる橋の架け替えは計画がされていると聞いている。現在のように環状線の道路拡張工事ができないのであれば、平成17年に申請された請願書に上げられているような橋の架け替え要望等とは、だいぶ内容も変わってくるのではないかと思う。どのような橋の設計をされているのか。

建設林業課長 環状1号橋については、橋梁長寿命化計画により、施工する場合には本来補修し延命させる事業で、詳細調査の結果次第では架け替えになることもある。それを今回詳細調査をするというのが、今回予算で入れかえる部分である。しかし、大幅な幅員確保は望めない

と思う。環状1号橋は、有効幅員は4メートルである。橋梁との接合部分の町道環状線の有効幅員は4.75メートルあることから、最大で5メートルというふうに考えられるので、約1メートルの橋の拡張見込まれると思う。今回28年度予算で入れかえる詳細調査の結果次第ということである。

奥田 環状1号橋の上に車が停車していると、県道からの車の進入ができない。橋の幅を13.5メートルくらい確保してほしい。



環状1号橋

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 おかどめ幸福駅周辺の

今後の基本構想は

加賀山 観光資源を活用してのおかどめ幸福駅周辺の整備にはどれ位の時間をかけ取り組んでいくのか。

町長 観光振興計画をもとに最低5年は必死で取り組む。

加賀山 観光にもつながる文化財の保存についてクラウドファンディングを活用してみては。

町長 やりようによっては非常に可能性がある。観光だけでなく、こうした取り組みは検討してしっかりと研究していくべき内容だ。
加賀山 洋式トイレへの改修時に、トイレにひとつだけ幸福マークをつけるなどお金のかからない遊び心など取り入れてみては。

商工観光課長 前向きに考えていきたい。

◎働き盛り世代への心と身体へのケアのあり方について

加賀山 農繁期で集団健診に行けない方々がいる。今後、個人で受診された方への補助対応等の考えは。

健康推進課長 大きな自治体では個別健診を実施している所もある。町としては、しばらくは集団健診を続ける。今回は未受診の方について秋頃に再度計画をしているところ。

クラウドファンディング

東日本大震災後に、俳優の伊勢谷友介氏がSNS・ブログ等で発言し広く知られるようになった。インターネットで賛同者を募って資金を調達する取り組み。先日人吉市がまちづくり協定で取り組み、TV・新聞等で紹介された。



加賀山 瑞津子 議員

問 旧東庁舎の活用は

皆越 旧東庁舎を町民の避難場所にするとか、福祉の拠点にし町民の心身の健康づくりの場にするとか又一方では、上球磨の拠点としての役割を果たす建物ではないかと考えるが、昨日協定書については顧問弁護士にお尋ねし報告するということがあったがどうなったか、確認したい。

町長 覚書を取り交わしているけど紳士協定であり、その対象の企業がこちらにおこしになると言うことであれば応援すると言う事。この件については報告する。
皆越 町長の昨日の回答では、A社もあさざり町が快く迎えて



旧東庁舎



皆越 てる子 議員

頂くならばという思いもあるようで、2ヶ月程度で整理をし、遅くとも9月の議員懇談会迄にはまとめられないのか。

町長 少し慎重に色んな意見を聴いて行くべきところもあるかも。もう少し状況次第で時間を頂き報告し進めていく。

皆越 提案だが、庁舎の奪い合いはと思うが、上球磨消防署の本所を旧東庁舎に利用できないのか。

町長 場所については、現在の場所と言う事で基本合意が出来ている。

問 情報通信基盤の利用と見通しは



難波 町の総合計画ではサービスと利便性が向上する情報化の推進を掲げ、町独自のネット環境を整備し利用開始して6年になるが、現在の利用者数とサービス内容は。

企画財政課長 1020世帯が加入し毎月の使用料は4644円で、通信速度が1ギガである。

難波 施策指標には平成29年度末までに1200世帯とある。ネット



難波 文美 議員



快適なネット環境で各家庭から町全体に大きなメリットを

ト環境の使いやすさによって農林業や商工業の振興はもろろん若者の定住促進につながる。今の時代に合った町民のための独自のサービスや料金設定を提供すべきでは。

町長 ネット環境で強い町づくりをすることは大事な取り組み。通信技術は変化しており、冷静に他の方式と比較検討して足りない部分は何かの手を打っていかなくてはならない。そろそろそういう見直しの時期に来ていると思う。

◎その他の質問

○児童福祉及び子育て支援について

○自然災害発生時の対策について

一般質問

問 あさぎり駅前交差点暫定供用開始が遅れた理由は



豊永 喜一 議員

豊永 昨年9月議会でも質問をしたが、町の顔であり、交通の要衝でもあるあさぎり駅前駅の交差点改良工事が行われている。快適で利便性の高い道路整備、交通弱者に対する安全対策を考えたときに、早期に工事完了を願う町民の声が多い。4月からの暫定供用開始が遅れた理由は。

建設林業課長 県振興局の話では2つの理由があるとの事で、施工中に宅内排水等の埋設物関係を損傷させないよう当初は機械施工の予定が人力に工法が変更された事。電話線の電柱移設が難しい箇所が2、3カ所あり、4月を目途に電柱移設の予定が、熊本地震の関係で工程に大きな影響があったことが、暫定供用開始が遅れた最大の理由。今後の工程は、天候にもよるが、6月



早期完了が待たれる、あさぎり駅前交差点

中には舗装を終え、7月には安全施設を整備し、7月中には暫定供用開始を見込んでいるとの事である。

◎その他の質問

○罹災証明書の発行体制について

問 防災関連予算増に伴う

財政計画の見直しは

小見田 まさかの熊本地震を目の当たりにし、人吉盆地南縁断層が存在する

あさぎり町においても、地震への備えをより以上見直す必要性を痛感している。町の公有財産にも耐震化していない老朽建築物、町営住宅、上下水道施設等のインフラが多く存在するが、町民の生命財産を守るためにも防災上の観点から、どう運用されるつもりか。

総務課長 今年度末までに策定予定の公共施設等総合管理計画の中で再検討していく。

小見田 指定避難所のより以上の耐震化を含め、今一度、天井からの落下物の有無等、安全性の確認の必要はないのか。

町長 深田高山体育館が、今後見直す



小見田 和行 議員



安全対策確認を今一度

いい事例だと思う。一気に全部はやれないが、優先順位の高いところから確認していきたい。

小見田 今まで想定しなかった防災関連の歳出増が予想されるが、財政計画を見直す考えはあるのか。

企画財政課長 財政計画は見直しが必要と思っている。

問 地域防災計画の中での消防団の役割、あり方は

市岡 消防団は将来にわたり地域

防災力の中核として欠くことのできない代替性の存在である。改めてこの必要性を認識し、活動マニユアルの再確認と団員への周知、理解を求めていく事が重要な課題。出勤の増加、団員減少への歯止め等、現在の消防力を維持する為にどのような対策を考えているか。

町長 郡内で最も大きな団員を誇る消防団であり、町の安心安全を守り、地域の活力維持に大きく寄与されている。組織維持への取り組みは最も重要な課題の一つと考える。

総務課長 費用弁償アップも含め多方面から負担軽減に繋がる対策を考えている。例えば、行方不明搜索等には見守りカメラ設置計画や、徘徊模擬訓練を行い事前防止に努めている。また事業者の方々にも団員の活動において引き続き理解を求めていく。

市岡 少年消防クラブの位置付けは。

教育課長 学校での教育活動を通



市岡 貴純 議員



少年消防クラブ
防火、防災意識の啓発教育の一貫



あさぎり町消防団
地域防災を支えるあさぎり町消防団(全663名)

して、将来の地域防災を担う人材として社会貢献ができる子どもたちの育成も合わせ持つと考える。今後も保護者の了解を得た上で参加を求めていく。

問 低所得者世帯への子ども医療費 助成制度の利便性の向上は



久保 尚人 議員

久保 子ども医療費助成制度は、安易な受診の抑制と町の財政面でも大きな負担があるため、償還型から現物給付型に変更すべきではないと考えるが、現金を持ち合わせていないために、受診をためらう家庭が出てきている。制度自体は十分に機能しているが、制度の狭間で困っている低所得者世帯を助ける手だてはないか。

副町長 利便性を高めるために、即日償還払いや翌日口座振り込み、時間外の延長受付でも対応しているが、課題であると認識している。

生活福祉課長 生活困窮者自立支援法に基づき、社会福祉協議会でも相談事業を行っている。相談してもらえれば町と杜協で連携をとりながら、家計の相談等の支援を行っていききたい。

久保 悩みを拾って家計をうまく回る

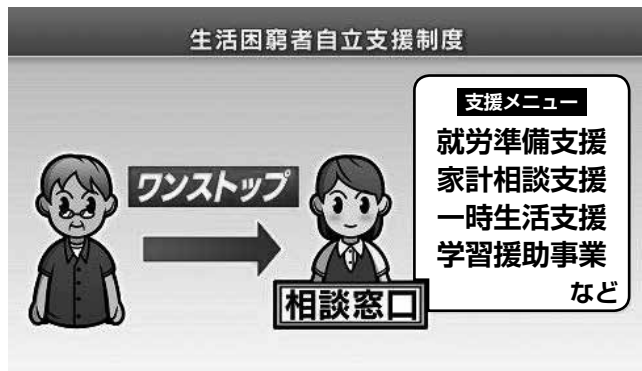
ようにして、根本的に立ち直ってもらうことが大事だ。取り組みに期待する。

償還型

医療費の個人負担分を一度病院窓口で支払った後、所定の手続きを経て町から全額助成する方法

現物給付型

医療費の個人負担分を病院窓口で支払う必要がない方法



問 町の観光は地域間連携が大切では



永井 英治 議員

永井 あさぎり町は観光だけで人を呼べるような要素は持ち合わせていないと思う。観光には市町村間の連携が大切だと思うが。

商工観光課長 確かに観光を産業として確立するのは難しい地域だと思うが、現在地域間の連携のひとつに、県南15市町村で構成されている「くまもと県南フードバレー推進協議会」があり、今回、地方創生事業の加速化交付金を活用し、食と観光資源が一体となった地域ブランドの創出を目的として、「マーケットインによる地域産品の開発」「ファン獲得に向けた取り組み」「食と観光資源のパッケージ化」「情報発信」等の事業を行っている。

永井 日本版あさぎりDMOの設立は果たして妥当な事なのか。

商工観光課長 現在あさぎり町には観光協会といった観光推進組織が無いので、専門知識を持った推進組織を作るべきだと考えている。

町長 人吉球磨の観光は広域連携が欠かせないと思うが、それぞれの市町村が持っているものを生かした上で連携し、DMOは町でも広域でも取り組みたい。



観光客がまだまだ期待できるおかどめ幸福駅

問 あさぎり町地域防災計画は十分か



橋本 誠 議員

橋本 あさぎり町地域防災計画は、住民の生命・身体・財産を守る事ができる十分なものか。今回の熊本地震で被災された市町村の対応を参考に計画を見直す必要があると思うが。

町長 熊本地震を経験して、現状の防災に対する準備は十分かと問われたら、十分だと思っていない。今すでに議論を始めており、まずやれるところから段階的に準備していく。

橋本 町内の避難場所を指定されているが、民間（JA等）や市町村間を超えての協定が結ばれるとすれば、避難の選択が広がると思うが。

総務課長 避難所に適した民間施設と協定を結んでいないが、進める為の検討をする。



安心・安全の防災計画書と防災マップ

橋本 個人向けの耐震事業にどの様に取り組むか。

建設林業課長 耐震診断について国・町が補助しているが、診断結果に基づき耐震化改修についても、国と町で助成制度があり、来年度から予算を要求していく。

議員のボランティア活動

～ ツクシイバラ除草清掃作業に一汗 ～

ツクシイバラウォーキング大会前の5月14日に、今年も議員で除草作業に参加しました。

ツクシイバラは熊本県の絶滅危惧種に指定されており、国内で自生している群生地は球磨郡だけのこと。開花時期の5～6月には地元のみならず、県内外からの見学者も年々増加しています。

活動当日の朝、あさぎり町深田の古町橋下に集合し、大会の盛会を願いつつ、河川敷での作業に汗を流しました。



葛のツタや雑草をスッキリ



5月21日大会当日 ボランティア活動中の青年団

10月23日(日)に第14回くま川マラソン大会が開催されます。

山口議長を実行委員長に、議員もボランティアで参加します。
これからは議員一同、町の活性化にむけて積極的に取り組んでいきます。

一部事務組合及び常任委員会報告

公立多良木病院企業団議会

第1回定例会を3月28日に開催し、病院、老健及び検診事業の今年度予算を収入38億405万6千円、支出40億115万5千円(損益▲1億7101万9千円)で可決。第2回臨時会を6月2日に行い、赤字が続く当院の経営改革を進めるため5月より業務委託している経営コンサルタントの費用1614万6千円(2ヵ年分)の専決処分承認を可決。



公立多良木病院企業団議会

人吉球磨広域行政組合議会

平成28年度人吉球磨広域行政組合議会臨時会が5月27日開催された。同ふるさと市町村圏特別会計補正予算は、ふるさと市町村圏基金から7500万円を繰り入れ、あさぎり町へ薬草加工場建設事業の負担金として支出するための増額補正で、執行部の提案理由及び補足説明を受け質疑起立採決の結果、原案通り可決した。

上球磨消防組合議会

平成28年第1回臨時会が5月19日に開催され、議会の改選により議長に水上村小野頼年議員、副議長にあさぎり町永井英治議員が選出された。行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、他2議案は原案通り可決した。庁舎建設問題については、構成町村の副町長クラス4名と消防署の消防長以下幹部6名による庁舎建設検討協議会を立ち上げ検討がなされている。

厚生常任委員会

○6月1日(水)

白髪岳 午前9時30分から

・ヘルシーランド・温華乃湯温泉・高山荘の3施設を訪問視察

○午前11時から

・あさぎり町温泉施設の方向性について(生活福祉課)

・平成28年度臨時福祉給付金および年金生活者等支援臨時福祉給付金の実施について

(生活福祉課)



厚生常任委員会

総務文教常任委員会

○5月27日(金)

・公共用地取得等審議会条例の改正について

総務課より、これまでの公共用地等の処分と併せて、公共施設等の処分も含めた運用も考えてこの条例を「公有財産利活用審議会条例」と改めたいとの説明があった。委員からは、「国からの指針がある通り、公共施設等の総合管理計画を早急に作るべきではないか」等の意見質問に対して、資産台帳の整備と併せて施設の総合管理計画が来年3月の完成の計画であり、本日の委員の意見を踏まえた上で改正案を本会議に提出するとの事であった。



総務文教常任委員会



建設経済常任委員会

建設経済常任委員会

- ・熊本地震による高山体育館の被災状況と今後の対応について
- ・教育課より、地震による被災の状況、現在の全面使用禁止の措置、今後の対応策の説明を受けた。委員会としては、体育館利用者にも大変な不便をかけている状況から早急に復旧させて欲しいとの意見であった。
- 5月26日(木)
- ・本年度建設関連事業の一部見直し、農業支援センター法人化に向けた取組み状況他5件について所管課より報告を受け質疑応答
- 6月7日(火)
- ・上財産区管理会との意見交換会
- 6月10日(金)
- ・(株)ツムラ本社訪問 委員長が町長に同行

全国町村議会広報研修

広報調査特別委員6名が参加

平成28年度町村議会広報クリニック
東京都板橋区議会

平成28年7月13日(水)～15日(金)

1. 広報クリニック

今回のクリニックは、
○分かりやすく情報訴求するための構成
○読んで頂くための編集、見やすい表現
をテーマにおこなわれた。

本町も広報クリニックを受け
た中で、議会だよりあさざりは、
表紙の写真(神社・寺・仏像等)
でカラージュされたビジュアル
が独特の雰囲気。**第2回中学生
議会**は企画意図と情報の概要が
住民に伝わる編集。**住民の声**は
住民参画が住民とコミュニケーション
の場がとれている点が評価
された。

研修の中で具体的なアドバイスを受け、各委員が共有し、
「**伝える**」から「**伝わる**」より
良い広報紙作りにしていきたい
と思った。

2. 板橋区議会研修

「地方議会人」広報クリニック
に参加された板橋区を訪問。
発行部数約19万部。配付につい
ては新聞折り込みや公共施設・



全国町村議会広報クリニック

3. ふるさと会(関東)との交流会

コンビニ等へも設置。特に住民
にやさしいサービスとして「声・
点字のサービス」があり、我が
町も駅や各施設への設置や弱者
に対してのサービスも検討して
いきたいと感じた。

ふるさと会の役員8名との交
流会を通して、先輩方の話しを
聞くと、ふるさとを離れ今日ま
でこの地で歩んでこられた道の
りの重さを感じた。多くの方々
のふるさとへの思いを今後も町
づくりにつなげて行かなければ
と再確認した。

あさざり 町議会 活性化特別 委員会発足

あさざり町議会活性化特
別委員会の設置に関する議
案「各議員が基本条例を理
解し発言、行動をしてきた
のか検証するとともに今後
さらに町民の負託に応える
べく議員の役割と責任を自
覚するため特別委員会を設
置し研鑽する必要がある」
が可決され、平成28年6月
17日に発足いたしました。

この委員会は開かれた議
会をめざして議長を除く15
名の議員で構成され、小見
田和行委員長、久保尚人副
委員長を中心に活動してい
きます。

受け継がれてきた農地を次の世代へ



岡原（宮麓）

荒川 正勝 さん

田植えを終えた田園風景にほっとする中、4月の熊本地震に続き大雨による災害と不安な日々が続いています。

被災された方々には心より御見舞い申し上げます。

私の住む地域は山に隣接しており、これからは鳥獣による作物への被害が心配されます。

30年程前は被害も少なかったのですが、年を追うごとに酷くなり範囲も拡大してきました。

行政機関の支援を受け、鹿除けネットや電気牧柵、金網などを張り進入を防いでいますが、油断をすると収穫できない程荒らされてしまいます。残念ながら耕作を諦める農家もでてきております。

近年、農業法人や行政による支援体制も進められており、耕作放棄地の増加に歯止めがかかればと思います。

受け継がれてきた、山の裾野に広がる田畑を次の世代に残していく為にも、安心して作物が作れる環境作りに関係機関のより一層の御協力を宜しくお願い致します。

須恵寺池（旧川瀬地区）の2人のお嫁さん（新潟・宮崎より）にインタビューしました。

①あさぎり町の印象は。

- 町の行事が盛んで活気がある。
- 地区のつながりが強い。
- 自然が多く、球磨川がきれい。
- 地域の人がやさしく声かけしてくれてなじみやすかった。



②これからの町に望むことは。

- 郡内の町村の情報をインターネット等で調べる時に、どういうサービスや支援があるのか、わかりやすくお知らせがあると町の良さが伝わると思う。
- 子育てしやすい町とあるが、支援や子どもが遊べる場所づくりなど、具体的に取り組んで欲しい。
- 近くにお店が増えて欲しい。
- スーパー等いくつかあるので便利。（車のないお年寄りの方は大変かもしれない）
- 溝さらえなど共同作業が多いがどうにかならないか。仕事をしていると参加出来ないの。

◎これからも、地域の皆さまよろしくお願ひします。

編集後記

熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます、被災地の早期の復旧・復興が進みます事を心からお祈りいたします。

今回の議員改選によつて女性議員が3人となり、なごやかな中であつて、きめ細やかな議論がなされ、議会が町民の皆様に、より身近なものになると信じております。議会広報誌も委員一同、新たな気持ちで、町民に親しみやすく、読みやすい紙面づくりに取り組んでまいりますので、宜しくお願いいたします。（橋本 誠）



（橋本 誠）

編集・発行責任者		議長 山口 和幸
広報調査特別委員会		
委員長	橋本 誠	
副委員長	加賀山 瑞津子	
委員	奥田 公人	
委員	豊永 喜一	
委員	小出 高明	
委員	岡田 貴純	